

Set Items Description

--- -----

?s pn=jp 10258148

S1 1 PN=JP 10258148

?t 1/3,ab/1

1/3,AB/1

DIALOG(R)File 351:Derwent WPI

(c) 2002 Thomson Derwent. All rts. reserv.

012159220

WPI Acc No: 1998-576132/*199849*

XRPX Acc No: N98-449270

Antiskid mechanism for shoe in snow - has alphabets carved out of
antiskid members with sticking portions on backside, combined to provide
uneven rough surface

Patent Assignee: NAGASAWA H (NAGA-I)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 10258148	A	19980929	JP 9784404	A	19970317	199849 B

Priority Applications (No Type Date): JP 9784404 A 19970317

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 10258148	A		3	A63C-005/12	

Abstract (Basic): JP 10258148 A

The mechanism consists of an alphabet (1) formed out of an antiskid member. The member has a sticking surface (2) at its backside. A number of alphabets are combined to form required form and stuck to a surface of a snowboard (3), to provide an rough uneven surface.

ADVANTAGE - Allows names and pet names to be displayed.

Dwg.2/2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-258148

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月29日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

A 6 3 C 5/12

A 6 3 C 5/12

G

A 4 3 B 5/00

3 1 0

A 4 3 B 5/00

3 1 0

5/04

5/04

S

A 6 3 C 5/00

A 6 3 C 5/00

B

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-84404

(22) 出願日 平成9年(1997) 3月17日

(71) 出願人 597044520

長澤 一

大阪府八尾市荘内町1丁目2-20 ポリバ
ーシュ406

(72) 発明者 長澤 一

大阪府八尾市荘内町1丁目2-20 ポリバ
ーシュ406

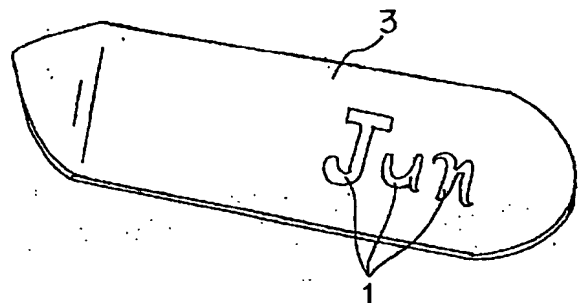
(74) 代理人 弁理士 小川 一臣 (外1名)

(54) 【発明の名称】 スノーボード用靴の滑り止め具

(57) 【要約】

【課題】 スノーボード用靴の滑り止めを簡単な構造でもって行い得ることが出来ながら、その滑り止め具を用いてスノーボードに対する識別性(名前、愛称等)を持たせることが出来るようにする。

【解決手段】 スノーボード用靴の滑り止め具であって、裏面にタック2を有する滑り止め部材1でアルファベットを構成し、所要のアルファベットを組み合わせてスノーボード3の表面に凹凸が形成されるように貼着する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 スノーボード用靴の滑り止め具であって、裏面にタック2を有する滑り止め部材1でアルファベットを構成し、

所要のアルファベットを組み合わせるスノーボード3の表面に凹凸が形成されるように貼着する、スノーボード用靴の滑り止め具。

【請求項2】 上記滑り止め部材1が発泡樹脂である、請求項1のスノーボード用靴の滑り止め具。

【請求項3】 上記滑り止め部材1がゴムである、請求項1のスノーボード用靴の滑り止め具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】 本発明は、スノーボード用靴の滑り止め具に関し、特に、スノーボードに対する靴の係止手段とは別のスノーボード用靴の裏面とスノーボードの表面との滑りを防止するところのスノーボード用靴の滑り止め具に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、スノーボードに対する靴の係止は充分に行われているが、この靴のスノーボード表面に対する滑り止めについては、この靴の裏面の凹凸のみに頼っていて、格別の対策が講じられていなかった。その為に、靴のボード表面に対する馴染みが悪く、足の捌きに対する追従性が悪いという問題があった。

【0003】 これとは別に、スノーボードはスキーと異なり比較的に小さなものであるもので、スキー場において持ち運びされることが多く、また、形状、デザインも極く類似しているため、休憩等で所要の場所に立掛けておいたりすると、他者のものと間違ふ恐れが多く、従って、このスノーボードの識別のために名前を付しておくことが好ましい。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 こうした二つの要求を満たすべく、本発明者は、スノーボードの表面に摩擦係数の高い素材、例えば、ゴムを貼ることを試みたが、ボードの全面に滑り止め素材を貼る方法は、滑らかなボード表面に較べて引っ掛かりが良いことは確かであるが、靴自体もゴム（又は合成樹脂）であるところから摩擦だけの滑り止め効果しか得られず、加えて、雪等が靴の裏面に付着したり、ボード表面に付着すると滑り止め効果が極度に低下し、単に素材の摩擦係数が高いというだけでは、十分な滑り止め効果を期待出来なかったのである。

【0005】 そこで、本発明者は、こうした問題を解決するべく、上述の滑り止め素材でもってボード上に凹凸を形成するように、ストライプ状、所定のデザイン（パターン）等で貼着することを考えた。この際、この滑り止め素材を用いて文字を形成し、名前等を記すようにすればスノーボードが識別できるのではないかと思ひ

つき、平仮名、片仮名を準備してみたが、これらは何れも1文字を形成するのに1部材のみで構成するものが少なく（例えば、い、が、ラ、バ等）、貼着に手間を要すると共に50音の全てを準備することも大変である。

【0006】 加えて、平仮名、片仮名の場合は、平面上（二次元）の文字の延びる方向が比較的に少なく、多方向に対する滑り止め作用が期待できない。例えば、上述の『い』とか『り』であれば、その左右の間の上下の方向に対する滑り止めの掛かりが期待出来ないという問題がある。

【0007】 本発明は、上述した如きスノーボード用靴の滑り止めを簡単な構造でもって行い得ることが出来ながら、その滑り止め具を用いてスノーボードに対する識別性（名前、愛称等）を持たせることが出来るようにすることを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明にかかるスノーボード用靴の滑り止め具は、上記目的を達成するために、スノーボード用靴の滑り止め具であって、裏面にタック2を有する滑り止め部材1でアルファベットを構成し、所要のアルファベットを組み合わせるスノーボード3の表面に凹凸が形成されるように貼着する、という手段を講じたのである。本発明に於いて、上記滑り止め部材1が発泡樹脂であったり、ゴムであるのが好ましい。

【0009】

【発明の実施の形態】 本発明に於いて、上記滑り止め部材1として、発泡樹脂やゴムの他にフェルト等を用いることが出来る。本発明によれば、滑り止め部材1がボード上に凹凸を形成するので、これに対する靴の引っ掛かりが良好であり、殊に、文字の線が多方向に延びる特徴のあるアルファベット（大、小文字）により一層その引っ掛かり作用を増大でき、以て、滑走に際してボードが足の捌き動作に追従し易く、非常に滑り易くなるのである。

【0010】 また、この滑り止め部材1でアルファベットを形成しているため、平仮名、片仮名と異なり、1部材（大文字は全て1部材ですむ。小文字はiのみ2部材となるが、この場合には上部の点を省き下部の棒のみで足りるし、場合によっては上部の点と下部の棒との間に別の色彩を施すといった方法も採れる）のみで貼着することができるとともに24文字だけ準備すれば足りる。これによって、スノーボードに名前、愛称等を付して識別性を与え、持ち運び出来、取り扱いが簡単なスノーボード故に他者との混同を来す恐れが多いが、こうした方法によって、紛失、誤認を未然に防ぐことが出来る。

【0011】

【実施例】 本発明のスノーボード用靴の滑り止め具の好適実施例について、図1及び図2に基づいて詳述する。図1は、本発明の滑り止め具の滑り止め部材1で、発泡樹脂を用いて5mm程度の厚みでアルファベットのAを

3

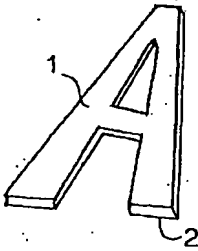
形成し、その裏面に感圧接着できるタック（接着剤）を備えるように構成され、以て、靴に対する引っ掛かりを良くしている。

【0012】図2は、複数の滑り止め部材1を準備してスノーボードの表面に貼り、持ち主の名前を描いた状態を示す。こうした使用方法によって、このスノーボードに識別性を持たせ、多数の人々の集まるゲレンデ、ロッジ等において休憩で立掛けておいても、他者との混同が未然に防止できる。

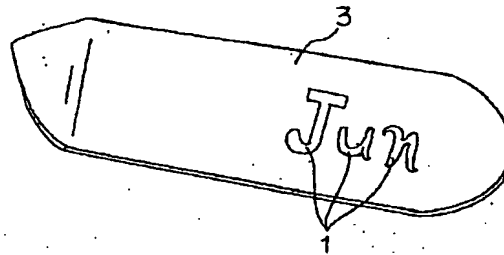
【0013】尚、滑り止め部材1（アルファベット）は、別の剥離シートに多数貼着しておいて、必要に応じて剥離し、所望の名前等が形成できるように組み合わせる用いるのが好ましい。

【0014】

【図1】



【図2】



【発明の効果】本発明によれば、スノーボード用靴の優れた滑り止め効果を簡単な構造でもって発揮することが出来ながら、その滑り止め具を用いてスノーボードに対する識別性（名前、愛称等）を持たせることが出来るという顕著な利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかるスノーボード用靴の滑り止め具の斜視図である。

【図2】本発明にかかるスノーボード用靴の滑り止め具の一使用状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 1 滑り止め部材
- 2 タック
- 3 スノーボード